和歌山がん・緩和作業療法研究会

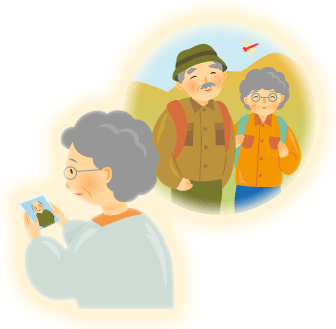
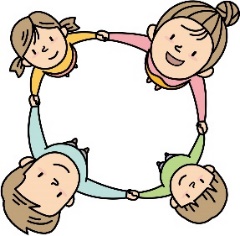
平成29年3月1日

**第二回　研修会のお知らせ**

**『看取り・グリーフケア(大切な人を亡くすことからの悲嘆の回復)、**

**がんと緩和の知識を深めよう。』**

　研修会開催のお知らせです。２回目内容は、「看取り・グリーフケアから、心の痛みを理解すること」を、臨床での看取りからの考察、家族から遺族となっていく支える方のグリーフケアの基礎的内容を含め、知識を深めることで皆様の臨床での悩み解決への機会となればと思っています。普段の仕事の中での、がんのリハビリテーション・緩和ケアの悩み・疑問、どんな小さなことでも、みなさまと共有できればと思います。目の前の患者様にできることをつないでいきましょう。皆さまと「一緒に」、和歌山のがん・緩和リハビリテーションがまた一歩、前に進む時間となれば幸いです。



日時：2017年3月19日（日）（予定）10：00～12：30

場所：中谷病院（和歌山市鳴神123-1）

※駐車場が少ないため皆様できるかぎり乗り合わせでお願いします。

対象：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、医師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、

その他

定員：４０名（定員に達した場合、お断りすることがありますがご了承下さい）

参加費：無料

10：00～11：10　『Ｄｒ.Ｔｉｇｅｒの恋する医療。～そこに愛はありますか～』

中谷医科歯科病院　院長　中谷匡登医師

人は物語無しには生きられない。超高齢化社会が訪れる日本で、これから必要とされる立場は、良質な聴き手であり、かつストーリーテラー要素を持つ人だと信じています。巷には診断の精度と治療の有効性を高めるための書籍が山と出版されています。少しでも良い数字を追いかけて一生懸命です。それに対し敬意は払いますが、正直誰のための努力なのか…自分の満足と経験値、同業者の評価に比重が偏っていないか。たぶん私たちは、もっと本を読んで恋をして、患者の人生に耳を傾けた方がいい。そして享年88を89に長くすることより、88で大往生とすることに対して尽力する、それは素晴らしいことではないでしょうか?…当日はそんなお話を皆さんと話せればいいなと思います。

11：20～12：00　『グリーフ(悲嘆)ケアの基礎知識』

中谷病院　作業療法士　日本グリーフケア協会グリーフケアアドバイザー　東内麻理

家族様など患者様を支えられた方が、遺族になる。これは人として生きる限り当然のことではあります。ただ、『生きる』間にできること、それは大きく家族・遺族の方の心の回復に影響します。まだ、今の臨床でグリーフまで触れる・介入することは難しいですが、知識があることで私たち医療・福祉従事者の関わりにできることは必ずあります。皆様と知識を深め合えること。お待ちしています。

12：10～12：30　グループワークと質問・返答

【問い合わせ・参加申し込みメール】

wakanwa-ot@freeml.com件名に「研修会参加」と記載し、東内麻理宛までお気軽にご連絡下さい。

主催：和歌山がん・緩和作業療法研究会　中谷病院　東内麻理